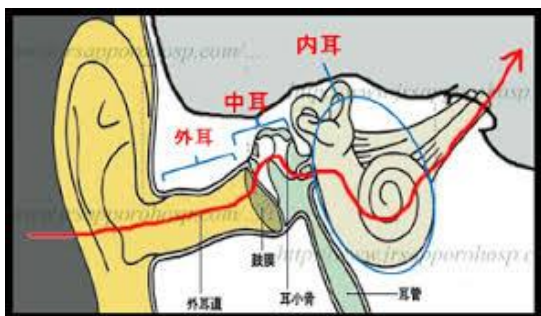


# 夢 塾 だ よ り

## ～ 鼓 膜 形 成 術 ～

(第 39 号) 令和 2 年 10 月 30 日



10 年前、東京から那覇に着く飛行機を降りると右耳に『キーン』という鋭い音がして、針で刺されたように痛かった。翌日耳鼻科へ行くと「鼓膜に小さな穴が開いています」と医者に言われ、「しばらくすると自然にふさがるでしょう」との診断だった。昨年 6 月、右耳に物が詰まった感じがして聞こえづらくなり、大きな耳くそでも取ってもらおうつもりで耳鼻科へ行くと「直径 5 ミリくらいの穴が開いていますね」・・・「穴をふさぐ手術をするしかありませんね」と言われショックを受けた。それから手術の予定を組むも新型コロナの感染予防の影響で延び延びになり、やっとの思いで 10 月 6 日に一日入院で鼓膜形成手術をしてもらった。私にとっては初の全身麻酔によるもので 1 時間半の手術。意識が戻った術後は体が宙に浮いたようで、宇宙船から地球に生還した宇宙飛行士のように妙な感覚であったが、無事に済んだという安心感ですぐに眠りについた。

手術というのは人体にメスを入れられるので、どんなに小さなものでも恐怖心はつり、全身麻酔は意識をなくすのでなおさら怖く、耳は頭に近いところなので油断がならない。手術までの間は、そんなことをあれこれ考え長い旅路のようだった。今は無事に済んでほっとしているのですが、完全にふさがるには 3 か月かかるとのことで週に 2～3 回の通院で経過を見ているところです。

コロナ禍のなかにあって、毎日命がけで医療現場で働く医師や看護師、そのほか大ぜいの医療従事者の方々の献身的な姿を見ることができました。皆さんの気高く尊い心意気に賛辞を送りたいと思います。特に執刀した M 先生は技量も対応もすばらしく安心して任せられるいい先生でした。

今回の手術では私が担任をした生徒がその病院の看護師になっていて、高校卒業以来の再会となり術前の緊張を和らげてもらいました。立派で素敵な看護師になっていてとてもうれしく、教師冥利につきました。

人間はどこでどのように繋がるかはわかりません。ですからいつ、どこでどんな形で再開するにせよ、その時に恥ずかしくないように目の前にいる人のために、精一杯尽くして生きることが大切であるとおつくづく思います。